

## 「東京リアス海岸」

海岸に近い土地が河川によって浸食され、それが海進(海面上昇)や土地の沈降によって沈んだ浸食谷を溺れ谷(おぼれだに)といいます。溺れ谷が連続して見られる、ギザギザした海岸が「リアス海岸」(リアス式海岸ともいいます)です。日本では、三陸海岸や舞鶴湾などが有名です。

地球温暖化で引き起こされる最も恐ろしい現象は、両極の陸氷の融解と、海水温上昇による「海水自身の膨張」です。もし、世界の海面が今より10メートル上昇したら、東京東部にも溺れ谷が多数できて、地図は大きく変わってしまいます。それがこの地図です。(作図; C. Tanaka 2014)



武蔵野台地の縁よりも東側は完全に海面下に没してしまいます。赤羽、王子、田端などは、東京湾に面した海岸線になります。上野公園(上野のお山)は島になり、行くには渡し舟が必要です。高田馬場、渋谷、中目黒などの、現在は川が流れている低地は、入江の奥になります。渋谷に水上バスの発着場ができるでしょう。後樂園遊園地は海辺のバケーション施設になります。白金や高輪は、海に見える高台の住宅地に、品川は「品川半島」の先端になり、灯台が設置されます。東京駅や豊洲は完全に水没。亀戸、小岩、葛西などは、はるか沖合の漁場になってしまいます。とうきょうスカイツリーは、上野沖の海上に見えるはずです。

もちろんこれは、堤防も何も造らず、無防備に海進を受け入れた場合のシミュレーションです。そうなれば、未来の地図には、「東京リアス」と表記されることになるでしょう。

(お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋)